

基礎病理学

【Basic Pathology】

担当責任者 教授(第2病理学) 中山 敏幸
教授(第1病理学) 久岡 正典

ねらい

疾患の原因や発生機序と共に、侵された臓器や組織に生じる形態学的変化や機能傷害を理解する。病理学の研究手法の基本は形態学的観察であり、病理解剖学や病理組織学に加え組織化学や免疫組織化学、電子顕微鏡観察、分子病理学などを統合して、様々な病変に見られる特徴を把握し、身体に及ぼす影響についても理解することで、疾患の概念や関連する知識を包括的に習得する。

学修目標

1. 基礎病理学においては、医学全般で用いられる基本的学術用語を習得し、病気の成立に関する生物科学的基本原則を体系的に説明することができる。(Ⅱ-1, Ⅱ-3, Ⅱ-5, Ⅱ-6)
2. 病理学実習においては、剖検や生検、切除材料にみられる肉眼的あるいは組織学的所見を自らの眼で把握し、臓器・組織の病理学的変化を理解して詳述することができる。(Ⅱ-1, Ⅱ-3, Ⅱ-5, Ⅱ-6)

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考資料などで事前に学習しておくこと。
2. 配布された講義資料や参考書を熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 筆記・実習試験、小テスト、レポート等を総合的に評価する。
2. 100点満点換算し、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。
3. 試験の出題範囲は以下の通りとする。
 - 1) 1病理:退行性病変、腫瘍、組織診と細胞診
 - 2) 2病理:炎症、循環障害、感染症1病理・2病理担当別に試験等を実施する。

○教科書

特に指定しない。

○参考書

坂本穆彦、北川昌伸、仁木利郎編、「標準病理学 第5版」2015年、医学書院
小田義直、坂元亨宇、深山正久、松野吉宏、森永正二郎、森谷卓也編、「組織病理アトラス 第6版」2017年、文光堂
青笹克之編「解明 病理学-病気のメカニズムを解く-第3版」2017年、医歯薬出版株式会社
Kumar, Abbas & Aster編、「Robbins & Cotran Pathologic Basis of Disease, 9th edition」2014年、Saunders社
Rubin & Strayer編、「Rubin's Pathology, 7th edition」2014年、Lippincott Williams & Wilkins社
Kumar, Abbas & Aster編、「Robbins Basic Pathology, 10th edition」2017年、Saunders社
Reid, Roberts & MacDuff編、「Pathology Illustrated, 8th edition」2019年、Elsevier社

2年次

(1) 講義

講義:2301・2302講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.11.24	水	5	炎症 I	C	4	5	島尻 正平(2病理)
"	"	6	炎症 II	"	"	"	"
"	"	7	炎症 III	"	"	"	"
"	"	8	炎症 IV	"	"	"	"
12.8	水	1	炎症 V	"	"	"	"
"	"	2	炎症 VI・小テスト	"	"	"	"
"	"	3	炎症 VII	"	"	"	中山 敏幸(2病理)
"	"	4	炎症 VIII・小テスト	"	"	"	"
12.13	月	5	退行性病変 I	"	"	1,2,3	久岡 正典(1病理)
"	"	6	退行性病変 II (小テスト)	"	"	"	"
12.14	火	5	循環障害 I	"	"	4	中山 敏幸(2病理)
"	"	6	循環障害 II	"	"	"	"
"	"	7	循環障害 III	"	"	"	"
"	"	8	循環障害 IV	"	"	"	"
12.15	水	1	循環障害 V	"	"	5	"
"	"	2	循環障害 VI・小テスト	"	"	"	"
"	"	3	感染症 I	E	2		島尻 正平(2病理)
"	"	4	感染症 II・小テスト	"	"		"
12.20	月	5	退行性病変 III	C	4	1,2,3	久岡 正典(1病理)
"	"	6	退行性病変 IV (小テスト)	"	"	"	"
"	"	7	退行性病変 V	"	"	"	"
"	"	8	退行性病変 VI (小テスト)	"	"	"	"
12.21	火	5	退行性病変 VII (小テスト)	"	"	"	"
"	"	6	腫瘍 I	E	2		"
"	"	7	腫瘍 II (小テスト)	"	"		"
"	"	8	腫瘍 III (小テスト)	"	"		"
12.22	水	1	腫瘍 IV	"	"		"
"	"	2	腫瘍 V	"	"		"
"	"	3	腫瘍 VI (小テスト)	"	"		"
"	"	4	腫瘍 VII (小テスト)	"	"		"
12.23	木	3	組織診と細胞診 I	"	"		名和田 彩(1病理)
"	"	4	組織診と細胞診 II (小テスト)	"	"		"
R4.1.12	水	1	基礎病理学 試験				中山 敏幸(2病理)
"	"	4	基礎病理学 試験				久岡 正典(1病理)

2年次

(2) 実習

実習: 6208 コンピュータ実習室(大)

年 月 日	曜 日	時 限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目			担 当 者
				大項目	中項目	小項目	
R3.12.15	水	5	炎症 I	C	4	5	島尻 正平(2病理)
"	"	6	炎症 II	"	"		"
"	"	7	炎症 III	"	"		"
"	"	8	炎症 IV	"	"		"
12.22	水	5	感染症 I	E	1		"
"	"	6	感染症 II	"	"		"
"	"	7	感染症 III	"	"		"
"	"	8	感染症 IV	"	"		"
12.23	木	5	退行性病変 I	C	4	1,2,3	1病理全教員
"	"	6	退行性病変 II	"	"	"	"
"	"	7	退行性病変 III	"	"	"	"
"	"	8	退行性病変 IV	"	"	"	"
12.24	金	5	退行性病変 V	"	"	"	"
"	"	6	退行性病変 VI(レポート提出)	"	"	"	"
"	"	7	腫瘍 I	E	2		"
"	"	8	腫瘍 II	"	"		"
R4.1.5	水	1	腫瘍 III	"	"		"
"	"	2	腫瘍 IV	"	"		"
"	"	3	腫瘍 V	"	"		"
"	"	4	腫瘍 VI(レポート提出)	"	"		"
1.7	金	1	循環障害 I	C	4	4	中山 敏幸(2病理)
"	"	2	循環障害 II	"	"	"	"
"	"	3	循環障害 III	"	"	"	"
"	"	4	循環障害 IV	"	"	"	"